# 糖尿病教室だより　2021年度 No.6　内服薬編

飲み薬の効果や服用方法について、種類別にご紹介します。（当院の院内・院外採用薬のみ掲載）
飲み薬は大きく分けて７種類あり、状態に合わせて使い分けられています。

## インスリンの効きをよくする薬

### メトグルコ（メトホルミン）

主に肝臓で、糖が作り出されるのを抑えます。

**通常1日2～3回**
**食直前または食後**

**※　検査等で<u>ヨード造影剤</u>を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。（緊急の場合を除く）**

## インスリンの効きをよくする薬

### アクトス（ピオグリタゾン）

**通常1日1回**

**朝食前または朝食後**

筋肉や肝臓でのインスリンの効き目を改善します。

## インスリンの分泌を促す薬

### オイグルコン（グリベンクラミド）

### グリミクロン（グリクラジド）

### グリミクロンHA（グリクラジド）

### アマリール（グリメピリド）

すい臓を刺激して、インスリンの分泌を促します。
空腹時や食後の血糖を改善します。

**通常1日1回～2回**
**食前または食後**

## インスリンの分泌を促す薬

### シュアポスト（レパグリニド）

すい臓を刺激して、速やかにインスリンの分泌を促します。食後の高血糖を改善します。

**通常1日3回、毎食直前（10分以内）**

**※食事の30分以上前に飲んでしまうと、食事開始までの間に低血糖を起こす可能性があるため、必ず直前に飲みましょう。（食後に飲むと正しく効果が発揮されません。）**

## インスリンの分泌を促す薬

### ジャヌビア（シタグリプチン）

### グラクティブ（シタグリプチン）

### ネシーナ（アログリプチン）

### トラゼンタ（リナグリプチン）

### ザファテック（トレラグリプチン）

### エクア（ビルダグリプチン）

### テネリア（テネリグリプチン）

### オングリザ（サキサグリプチン）

### スイニー（アナグリプチン）

### マリゼブ（オマリグリプチン）

## 毎日のむタイプ

**通常1日1～2回、食前または食後**

血糖値の上昇に合わせて、インスリンの分泌を促し、血糖を上げるホルモンの分泌を抑えます。

## 週1回のむタイプ

**週1回　1日1回**
**食前または食後**

## 糖の吸収をゆっくりにする薬

### ベイスン（ボグリボース）

### セイブル（ミグリトール）

小腸での炭水化物（糖）の消化や吸収を遅らせて、 食後の高血糖を改善します。

**通常1日3回、食直前（10分以内）**
**※低血糖の時は、砂糖ではなく、**
**ブドウ糖の補給が必要です。**

## 尿中にブドウ糖の排出を促す薬

### スーグラ（イプラグリフロジン）

### ジャディアンス（エンパグリフロジン）

### デベルザ（トホグリフロジン）

### フォシーガ（ダパグリフロジン）

### ルセフィ（ルセオグリフロジン）

### カナグル（カナグリフロジン）

**通常1日1回、朝食前または朝食後**

腎臓での糖の再吸収を抑えて、
血液中の余分な糖を尿から出します。

# 配合剤　異なる効き方をする２種類の成分が１つの錠剤になったもの

## イニシンク配合錠

**メトホルミン**
インスリンの効きをよくする

＋

**アログリプチン**
インスリンの分泌を促す

**1日1回　食直前または食後**

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。（緊急の場合を除く）

## スージャヌ配合錠

**シタグリプチン**
インスリンの分泌を促す

＋

**イプラグリフロジン**
尿中にブドウ糖の排出を促す

**1日1回　朝食前または朝食後**

## エクメット配合錠HD（LD）

**メトホルミン**
インスリンの効きをよくする

＋

**ビルダグリプチン**
インスリンの分泌を促す

**1日2回　朝、夕**

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。（緊急の場合を除く）

## カナリア配合錠

**テネリグリプチン**
インスリンの分泌を促す

＋

**カナグリフロジン**
尿中にブドウ糖の排出を促す

**1日1回　朝食前または朝食後**

## メトアナ配合錠HD（LD）

**メトホルミン**
インスリンの効きをよくする

＋

**アナグリプチン**
インスリンの分泌を促す

**1日2回　朝、夕**

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。（緊急の場合を除く）

## トラディアンス配合錠BP（AP）

**リナグリプチン**
インスリンの分泌を促す

＋

**エンパグリフロジン**
尿中にブドウ糖の排出を促す

**1日1回　朝食前または朝食後**

## 配合剤　異なる効き方をする２種類の成分が１つの錠剤になったもの

### リオベル配合錠HD（LD）

**アログリプチン**
インスリンの分泌を促す

＋

**ピオグリタゾン**
インスリンの効きをよくする

**1日1回　朝食前または朝食後**

### グルベス配合錠

**ミチグリニド**
インスリンの分泌を促す

＋

**ボグリボース**
糖の吸収をゆっくりにする

**1日3回　毎食直前（10分以内）**

**※低血糖の時は、砂糖ではなく、ブドウ糖の補給が必要です。**

---

◇ 糖尿病治療の基本は、食事と運動です。
生活改善を行うことで、薬の効き目も得られやすくなります。

◇ 治療効果が適切に得られるよう、薬は飲み忘れなく正しく服用し、上手に血糖値をコントロールしましょう。

◇ 飲み忘れた時やシックデイの時に飲み薬をどうするかは、薬の種類や患者さんによって対応が異なります。
事前に主治医の先生に確認しておきましょう。

◇ 飲み忘れることが多い、種類が多くて困っている等がありましたら、一包化（他の飲み薬と一緒に１回分をまとめること）やお薬カレンダーの使用等で改善できます。
また、状況によっては、お薬の種類や飲み方の変更ができる場合もあります。
ご相談ください。

神戸市立西神戸医療センター　糖尿病療養指導支援チーム